

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 1 月 10 日(2023.1.10)

【公開番号】特開 2021-188687(P2021-188687A)
【公開日】令和 3 年 12 月 13 日(2021.12.13)
【年通号数】公開・登録公報 2021-060
【出願番号】特願 2020-94890(P2020-94890)
【国際特許分類】

F 1 6 H 25/22(2006.01)

10

F 1 6 H 25/24(2006.01)

【F I】

F 1 6 H 25/22 C

F 1 6 H 25/24 B

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 12 月 26 日(2022.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

本例では、以上のように、循環部品 5 の円周方向両側の端部に備えられた固定部 19 ごとに、1 対の係合凸部 26 を 1 対の係合凹部 16 にそれぞれ係合させることで、ナット 3 に対する循環部品 5 の径方向（外側及び内側）及び軸方向のそれぞれの変位を不能とし、循環部品 5 をナット 3 に固定している。このため、ナット 3 に対する循環部品 5 の径方向及び軸方向のそれぞれの位置決めが図られる。また、循環部品 5 ごとに 4 つの係合凸部 26 が 4 つの係合凹部 16 に係合するため、循環部品 5 が本体部 18 の中心軸回りに回転することが防止される。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0077

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0077】

本発明を実施する場合に、循環部品を合成樹脂製とすることもできる。この場合には、合成樹脂として、たとえばポリアミド 66 樹脂に、グラスファイバーを適宜加えた繊維強化ポリアミド樹脂材料を使用することができる。また、必要に応じて、ポリアミド樹脂に、非晶性芳香族ポリアミド樹脂（変性ポリアミド 6T/6I）、低吸水性脂肪族ポリアミド樹脂（ポリアミド 11 樹脂、ポリアミド 12 樹脂、ポリアミド 610 樹脂、ポリアミド 612 樹脂）を適宜加えることで、より耐水性を向上させることもできる。循環部品を合成樹脂製とする場合には、固定部に備える係合凸部を、ナットの取付凹溝に備えられた係合凹部に対して、スナップフィット式に係合させることができる。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

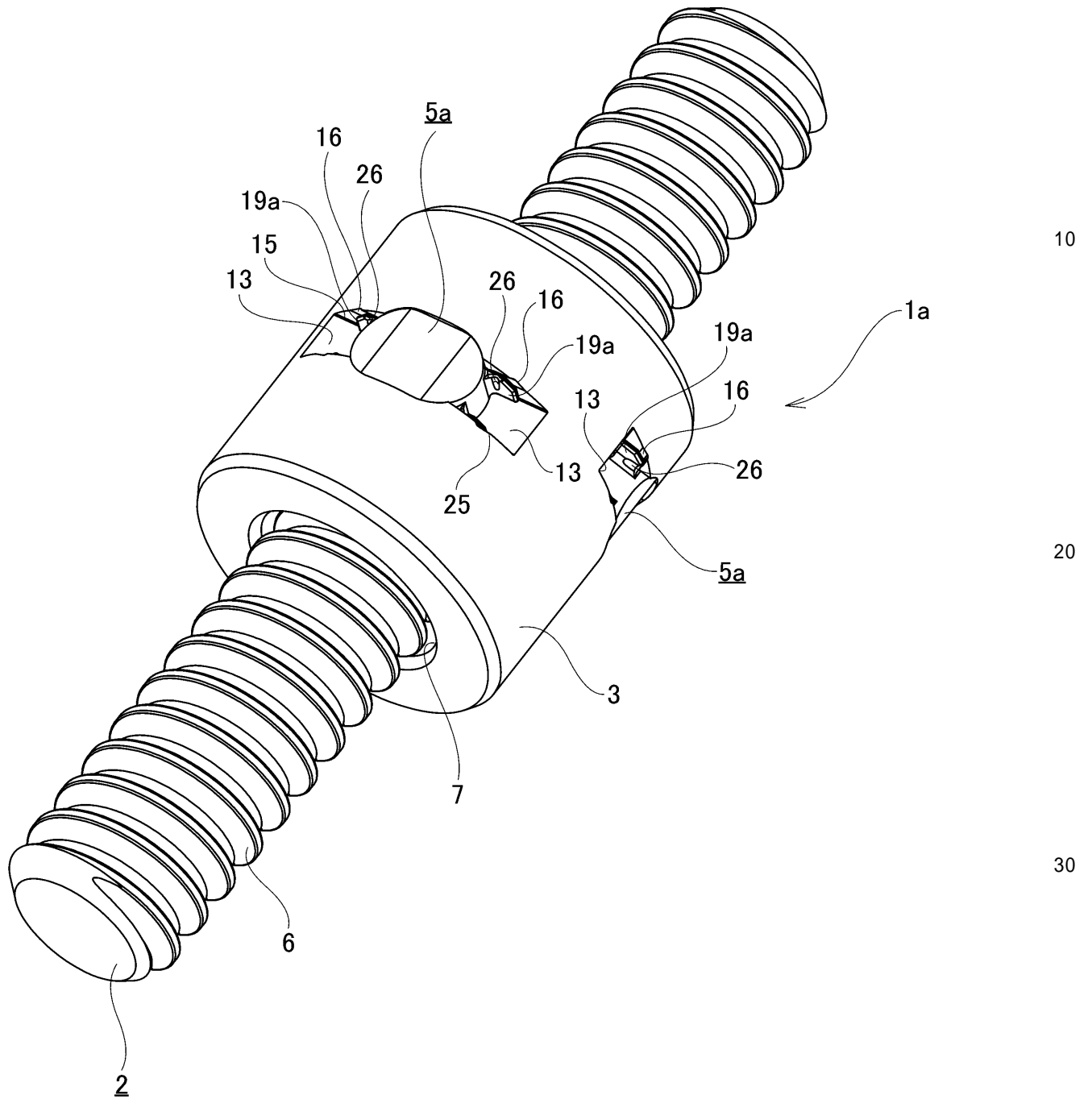
【補正対象項目名】図 16

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 図 1 6 】



【 手 続 補 正 4 】

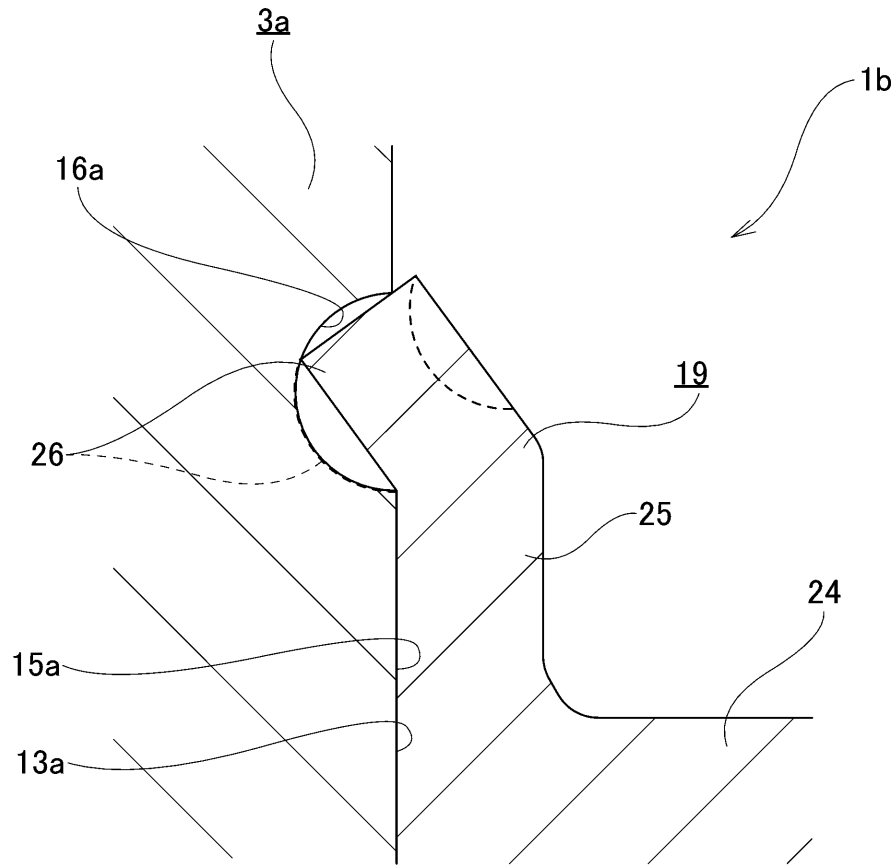
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 2 0 】



10

20

30

40

50